

§ 4.7 2次関数のグラフ

問題 4.7.1 放物線 P の各点 (x, y) は、2次関数 $y = 4x^2$ のグラフの点 $(t, 4t^2)$ (t はある実数) を x の軸の向きに -2 だけ y 軸の向きに -3 だけ平行移動させた点 $(t-2, 4t^2-3)$ なので、 $(x, y) = (t-2, 4t^2-3)$. $x = t-2$ なので $t = x+2$; $y = 4t^2-3$ なので $y = 4(x+2)^2-3$, つまり $y = 4x^2+16x+13$. 故に P をグラフとする関数は $y = 4x^2+16x+13$ である.

問題 4.7.2 関数 $y = 3x^2$ のグラフの頂点 $(0, 0)$ が点 $(4, 2)$ に移動する平行移動で、各点は x の軸の向きに 4 だけ y 軸の向きに 2 だけ平行移動する. 放物線 P の各点 (x, y) は、関数 $y = 3x^2$ のグラフの点 $(t, 3t^2)$ (t はある実数) を x の軸の向きに 4 だけ y 軸の向きに 2 だけ平行移動させた点 $(t+4, 3t^2+2)$ なので、 $(x, y) = (t+4, 3t^2+2)$. $x = t+4$ なので $t = x-4$; $y = 3t^2+2$ なので $y = 3(x-4)^2+2$, つまり $y = 3x^2-24x+50$. 故に P をグラフとする関数は $y = 3x^2-24x+50$ である.

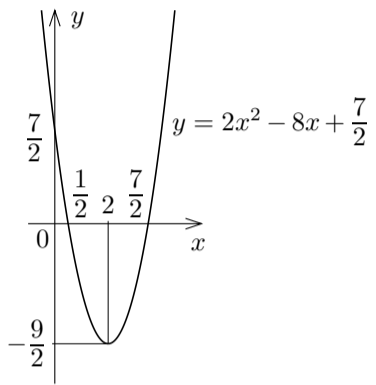
問題 4.7.3

$$y = 2x^2 - 8x + \frac{7}{2} = 2(x^2 - 4x + 4) - 8 + \frac{7}{2} = 2(x-2)^2 - \frac{9}{2} .$$

グラフの頂点の座標は $(2, -\frac{9}{2})$. $y = 2x^2 - 8x + \frac{7}{2}$ より、 $y = 0$ のとき、 $2x^2 - 8x + \frac{7}{2} = 0$ つまり $x^2 - 4x + \frac{7}{4} = 0$ なので

$$x = \frac{4 \pm \sqrt{16-7}}{2} = \frac{4 \pm 3}{2} = \frac{1}{2}, \frac{7}{2} .$$

従って $y = 2x^2 - 8x + \frac{7}{2}$ のグラフと x 軸との共有点は $(\frac{1}{2}, 0)$ と $(\frac{7}{2}, 0)$. また、 $x = 0$ のとき $y = \frac{7}{2}$ なので、 $y = -x^2 + 4x - 4$ のグラフと y 軸との共有点は $(0, \frac{7}{2})$ である.

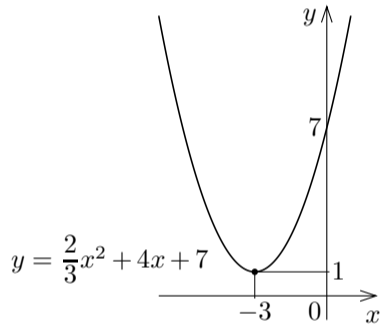


問題 4.7.4

$$\begin{aligned} y &= \frac{2}{3}x^2 + 4x + 7 = \frac{2}{3}(x^2 + 6x) + 7 \\ &= \frac{2}{3}(x^2 + 6x + 9 - 9) + 7 = \frac{2}{3}(x+3)^2 - 6 + 7 \\ &= \frac{2}{3}(x+3)^2 + 1 . \end{aligned}$$

グラフの頂点の座標は $(-3, 1)$. $y = \frac{2}{3}x^2 + 4x + 7$ より $y = 0$ のとき $\frac{2}{3}x^2 + 4x + 7 = 0$; この x に関する方程式は実数解を持たない. 従って $y = \frac{2}{3}x^2 + 4x + 7$ のグ

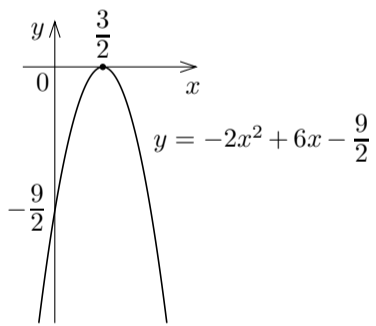
ラフと x 軸との共有点は無い. また、 $x = 0$ のとき $y = 7$ なので、 $y = \frac{2}{3}x^2 + 4x + 7$ のグラフと y 軸との共有点は $(0, 7)$ である.



問題 4.7.5

$$\begin{aligned} y &= -2x^2 + 6x - \frac{9}{2} = -2(x^2 - 3x) - \frac{9}{2} \\ &= -2\left\{x^2 - 2 \cdot \frac{3}{2}x + \left(\frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4}\right\} - \frac{9}{2} = -2\left(x - \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{9}{2} - \frac{9}{2} \\ &= -2\left(x - \frac{3}{2}\right)^2 . \end{aligned}$$

グラフの頂点は $(\frac{3}{2}, 0)$. $y = -2(x - \frac{3}{2})^2$ より $y = 0$ のとき $x = \frac{3}{2}$. 従って $y = -2x^2 + 6x - \frac{9}{2}$ のグラフと x 軸との共有点は $(\frac{3}{2}, 0)$ である. また、 $x = 0$ のとき $y = -\frac{9}{2}$ なので、 $y = -2x^2 + 6x - \frac{9}{2}$ のグラフと y 軸との共有点は $(0, -\frac{9}{2})$ である.



問題 4.7.6 関数 $y = f(x)$ のグラフは、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフを平行移動させた放物線で、頂点は $(-4, 3)$ なので、 $f(x) = \frac{1}{2}(x+4)^2 + 3$, 右辺を降幕の順に整理すると $f(x) = \frac{1}{2}x^2 + 4x + 11$.

問題 4.7.7 2次関数 $y = f(x)$ のグラフは点 $(6, -11)$ を頂点とする放物線なので、ある定数 a をとると $f(x) = a(x-6)^2 - 11$. 点 $(3, -5)$ が $y = a(x-6)^2 - 11$ のグラフに属するので、 $-5 = a(3-6)^2 - 11$, $9a = 6$, $a = \frac{2}{3}$. よって $f(x) = \frac{2}{3}(x-6)^2 - 11$ つまり $f(x) = \frac{2}{3}x^2 - 8x + 13$.

問題 4.7.8 関数 $y = f(x)$ のグラフは関数 $y = \frac{3}{4}x^2$ のグラフを平行移動させた放物線なので、ある定数 b, c をとると $f(x) = \frac{3}{4}x^2 + bx + c$. 点 $(4, 1)$ が関数 $y = \frac{3}{4}x^2 + bx + c$ のグラフに属するので、 $1 = \frac{3}{4} \cdot 4^2 + b \cdot 4 + c$ よって $4b + c = -11$. 点 $(6, 8)$ が関数 $y = \frac{3}{4}x^2 + bx + c$ のグラフに属するので、 $8 = \frac{3}{4} \cdot 6^2 + b \cdot 6 + c$ よって $6b + c = -19$. これらの方程式より、 $b = -4$ かつ $c = 5$. $f(x) = \frac{3}{4}x^2 + bx + c$ なので、 $f(x) = \frac{3}{4}x^2 - 4x + 5$.